

【参考】各都府県で死者数が最大となるケースの死者数内訳

※地震動ケース(陸側)、風速 8m/s、早期避難率低

※地震動に対して堤防・水門が正常に機能した場合、津波避難ビルの活用を考慮しない場合

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	最大被災ケース	
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							津波ケース	発災季節・時間
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	ケース⑤	夏・昼
栃木県	-	-	-	-	-	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-		
千葉県	-	-	約 1,600	-	-	-	約 1,600	ケース①	冬・深夜
東京都	-	-	約 1,500	-	-	-	約 1,500	ケース①	冬・深夜
神奈川県	-	-	約 2,900	-	-	-	約 2,900	ケース①	冬・深夜
新潟県	-	-	-	-	-	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-		
山梨県	約 400	約 30	-	約 10	-	-	約 400		冬・深夜
長野県	約 50	約 10	-	約 10	-	-	約 50		冬・深夜
岐阜県	約 200	約 30	-	約 20	-	-	約 200		冬・深夜
静岡県	約 13,000	約 1,200	約 95,000	約 40	約 1,600	-	約 109,000	ケース①	冬・深夜
愛知県	約 15,000	約 1,300	約 6,400	約 50	約 1,800	-	約 23,000	ケース①	冬・深夜
三重県	約 9,800	約 600	約 32,000	約 60	約 900	-	約 43,000	ケース①	冬・深夜
滋賀県	約 500	約 50	-	-	-	-	約 500		冬・深夜
京都府	約 600	約 50	-	-	約 200	約 80	約 900		冬・夕
大阪府	約 3,000	約 200	約 2,400	約 10	約 2,100	約 300	約 7,700	ケース③	冬・夕
兵庫県	約 1,400	約 100	約 4,100	約 10	約 200	約 60	約 5,800	ケース③	冬・夕
奈良県	約 1,600	約 100	-	約 30	約 50	-	約 1,700		冬・深夜
和歌山県	約 6,000	約 400	約 72,000	約 40	約 1,200	-	約 80,000	ケース③	冬・深夜
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-		
岡山県	約 1,100	約 80	約 40	約 10	約 10	-	約 1,200	ケース④	冬・深夜
広島県	約 700	約 50	約 60	約 20	-	-	約 800	ケース①	冬・深夜
山口県	約 80	約 10	約 100	約 10	-	-	約 200	ケース⑤	冬・深夜
徳島県	約 5,200	約 400	約 25,000	約 40	約 500	-	約 31,000	ケース③	冬・深夜
香川県	約 2,300	約 100	約 1,100	約 20	約 70	-	約 3,500	ケース⑤	冬・深夜
愛媛県	約 7,400	約 400	約 4,400	約 50	約 700	-	約 12,000	ケース⑤	冬・深夜
高知県	約 10,000	約 600	約 37,000	約 80	約 1,600	-	約 49,000	ケース④	冬・深夜
福岡県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	ケース①	冬・深夜
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-		
長崎県	-	-	約 80	-	-	-	約 80	ケース⑤	夏・昼
熊本県	-	-	約 10	約 10	-	-	約 20	ケース⑤	冬・深夜
大分県	約 100	約 10	約 17,000	約 30	-	-	約 17,000	ケース⑤	冬・夕
宮崎県	約 2,400	約 200	約 39,000	約 20	約 100	-	約 42,000	ケース⑤	冬・深夜
鹿児島県	約 10	-	約 1,200	-	-	-	約 1,200	ケース⑤	冬・深夜
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	ケース⑤	冬・深夜

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。